



# さくら

2017年11月号

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## 「インフルエンザについて」

偕行会グループ 副会長・(医社)偕翔会 理事長

堀川 和裕

毎年、晩秋から春先にかけてインフルエンザが流行します。日本では毎年1千万人が感染していると推定されているほど、インフルエンザウイルスは感染力が強いウイルスです。冬の病気という印象の強いインフルエンザですが、今年(平成29年)9月に、東京都大田区と埼玉県さいたま市のそれぞれ小学校で、インフルエンザによる学級閉鎖が報道されました。季節に関係なくインフルエンザにかかる可能性があることを覚えておきましょう。



インフルエンザにかかった場合、普通の風邪くらいの軽症で回復する人がいる一方で、重症化して肺炎などを合併し、命を落とす患者さんもいます。重症化しやすいのは、ご高齢の方、糖尿病・心臓病・腎不全・慢性呼吸器疾患などの持病をお持ちの方であることが知られています。透析をお受けになっている方は、インフルエンザに対する厳重な注意が必要です。